

令和3年度大阪府子ども読書活動推進事業計画

(1) 令和3年度事業実施計画 テーマ

1	重点的な施策に掲げる具体的な方策を実施することで、子どもの読書活動の向上に努める
2	生活の場ごとの活動を向上するため、ネットワークの構築を図る

(2) 令和3年度事業実施計画 具体的な取組

A		B		C	D	E	F	G
重点的な施策		具体的方策		第1回社会教育委員会議		子ども読書活動推進会議		第2回社会教育委員会議
		発達段階	主な内容	令和3年度事業実施計画	実績 (11月末時点)	成果・課題(自己分析) ※点線枠はテーマ2による分析	改善	ご意見
1	読書活動普及・啓発	乳幼児	・えほんのひろば ・おはなし会	・商業施設でのえほんのひろばを開催(コロナで休止中) ・団体へのえほんのひろばセットの貸出 ・府立中央図書館にて、おはなし会を開催	・図書館未設置市町村におけるえほんのひろばを開催(予定) ・団体へのえほんのひろばセットの貸出(2件) ・乳幼児向けおはなし会「たんぽぽ」コロナの影響で休止中 通常の水・土・日曜日のおはなし会 コロナの影響で休止中 夏休み行事として、大学生によるおはなし会実施(2回)	・コロナの影響のため、えほんのひろばの開催がほとんど実施できず、えほんのひろばセットの貸出もコロナ禍前と比べて少なくなっている。 ・乳幼児向けおはなし会「たんぽぽ」や 通常のおはなし会は、コロナの影響で実施できていない。 ・夏休みはコロナ対策を講じることができたイベントのみ実施できた。 ・子どもの来館者が減っている。滞在時間も短いため、イベント参加を見送る必要が生じている。		
		小中高	・読書イベント ・SNSやミニコミ誌等を活用した読書活動啓発	・作家が学校を訪問するオーサービジット事業を開催(府費開催(幼保・小・中・高)計12回) ・本のPOPづくりコンクールの開催(中・高)(7月~9月頃) ・府立中央図書館にて、学校等からの見学受入、スクールサービスの実施 ・サンケイリビング小学生新聞(公立小4~6年生に配布)にて読書手法などの紹介記事を掲載(夏・春計2回) ・小学生保護者向け読書啓発プリントを長期休暇前に府内の公立小学校へ配布(夏・冬・春計3回) ・ティーンズアスリートプレス(中高に配布)にてスポーツ選手による本紹介を掲載(夏・冬・春計3回)	・オーサービジット事業(府費開催12回、学校園自費開催13回) ・POPづくりコンクール(応募総数1,227作品) ・図書館見学受入(11件)、スクールサービス(189人参加) ・高校生のための図書館講座りぶリモート版動画配信(2本、100回程度視聴) ・サンケイリビング小学生新聞(夏1回) ・小学校保護者向けプリントの配布(夏・冬2回) ・ティーンズアスリートプレス(夏1回)	・オーサービジット事業の参加校数やPOPづくりコンクール等の参加者数が増え、本に触れる子どもが増えた。 ・参加者の所属校が読書活動に熱心な学校等に偏っている傾向が見られる。 ・コロナの影響により学校からの見学の受入が減っている。(コロナ禍前の約3分の1) ・直接全ての子どもに届くミニコミ誌の活用により、読書啓発を図ることができた。	・ウイズコロナの状況下における図書館でのおはなし会、学校からの見学等は、感染防止対策を講じつつ実施できるよう引き続き内容を検討する。 ・オーサービジット事業やPOPづくりコンクール等の事業効果の周知や、学校所管課との連携により、更なる周知と活用を促すことで子どもが本に興味・関心を持つきっかけの向上を図る。 ・様々な広報媒体を活用し、OSAKA PAGE ONEの更なる周知の強化を行うことにより、大阪府で子ども読書活動を推進できるようにする。	
		全体	・「子ども読書の日」「こどもの読書週間」におけるイベント ・OSAKA PAGE ONE ・読書活動普及啓発広報物の作成 ・「こころの再生」府民運動と連携した読書活動の普及・啓発	・子ども読書の日(こどもの読書週間)の趣旨に沿った事業を商業施設で開催(4月23日~5月12日) ・民間事業者と連携し、お菓みに絵本が読めるQRコード及びOSAKA PAGE ONEのロゴを掲載 ・OSAKA PAGE ONEのパナーを作成し、市町村・民間事業者等へHP掲載依頼 ・サンケイリビング小学生新聞(教育委員会発行協力、こころの再生府民運動啓発協力)の記事提供協力	・市町村及び商業施設と共催でイベントを実施予定であったが、コロナの影響により中止 ・市内企業の協力を得て、当該企業が管理する主要駅構内看板等(2箇所)で子ども読書活動啓発画像を掲載 ・図書館で予定していたおたのしみ会等、コロナの影響で中止 ・6月よりお菓子事業を実施。(600万個製造/HP累計ページビュー 約48,000/多数のメディアに掲載) ・協力民間事業者HP及び府立中央図書館HPにて、OSAKA PAGE ONEのパナーを掲載 ・サンケイリビング小学生新聞(夏)の記事提供協力 ・こころの再生HPにおけるお菓子事業の取組掲載	・公民連携事業(お菓子事業)の実施により、子どもが本に触れる機会を増やすとともに、広く府民へ子ども読書活動推進の重要性を周知することができた。 ・OSAKA PAGE ONEによる子ども読書普及啓発は市町村立図書館での取組やHPにおけるOSAKA PAGE ONEパナー掲載等が少なく、お菓子事業以外の発信が弱い。 OSAKA PAGE ONEの要綱を改訂し、連携団体の整理する等、普及・啓発に関するネットワークの構築を図ることができた		
2	乳幼児の時期の保護者や教育保育施設への読書活動支援	乳幼児	・教育保育施設職員への子ども読書活動に関する研修 ・ブックスタートなど、家庭や地域における読み聞かせ活動の支援	・研修動画を作成し、HP上に掲載会議・研修・メールにて周知 ・「新子育て支援交付金」活用について会議にて市町村へ周知 ・民間事業者の協力を得て乳幼児期のお勧め本リーフレットを作成し、市町村立図書館、保健所へ配布(5万部)	・年度内に作成予定 ・第2回市町村社会教育主管部課長会議にて周知 その他、市町村担当者研修等で周知 ・市町立図書館や保健所へリーフレットを配付しブックスタート等で活用(約5万部)	・新子育て支援交付金を活用してブックスタート事業等を実施する市町村が増加した。 ・リーフレット作成に協力いただいている事業者から、再来年以降の協力継続が未確定となっており、保護者へのリーフレットの配布・活用に課題が生じる可能性がある。 今年度更に多くの市町村が府の交付金を活用することで、府内における乳幼児期の読書活動のすそ野を広げることができた	・リーフレットの配付方法の改善等、乳幼児の保護者が本を手取るきっかけを強化する。	
3	中高生が読書への興味・関心を高めるためのインターネットを活用した取組	中高生	・府公式Twitter「さあ、本を読もう！」 ・「さあ、本を読もう！」への中高生からの投稿 ・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信等 ・オーサービジット事業(中高生向け)の動画配信等 ・「YA! YA! YA! べんりやん図書館」の活用	・毎週金曜日に府公式Twitterにて主に中高生に向けた本を紹介 ・「さあ、本を読もう！」にて、中高生によるお勧め本を紹介する参加型の取組を実施 ・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信の実施(11月以降) ・オーサービジット事業(中高生向け)の動画配信の実施(2月以降) ・Instagramを活用した情報発信(4月より開始)	・コロナの影響により年度当初より休止していたが10月より再開(119回配信) ・35件の応募有。 ・府公式Twitterでの紹介、ビブリオバトル大会・府立中央図書館にて展示を実施 ・年度内に作成予定 ・年度内に作成予定 ・フォロー203件 毎週、資料紹介および過去のPOP広場応募作品からのPOP紹介等を発信	・府公式Twitter「さあ、本を読もう！」へ一定数の中高生から応募があり、読書活動の普及に一定の寄与があった。 ・中高生ビブリオバトル大会動画配信予定 ・オーサービジット事業動画配信予定 ・YA向けInstagramのフォロワーが少なく、十分に広報機能を発揮できていない。 SNSの活用により中高生に向けた読書活動を進める取組はできたものの更なる周知の強化が必要	・動画配信を予定通り実施するとともに学校等に向けて適切な広報を行うことで、学校等における読書活動の取組を促す。 ・公式Twitterとの連携・統合など、YA向けInstagramの周知、強化を図ることで、中高生が本を手取るきっかけづくりを強化する。	

A		B		C		D		E		F		G	
重点的な施策		具体的な方策		第1回社会教育委員会議		実績		子ども読書活動推進会議		改善		第2回社会教育委員会議	
		発達段階	主な内容	令和3年度事業実施計画		(11月末時点)		成果・課題(自己分析) ※点線枠はテーマ2による分析		改善		ご意見	
4	支援が必要な子どもへの読書環境づくり	全体	<ul style="list-style-type: none"> えほんのひろばや読み聞かせなど、支援が必要な子どもの状況に応じた本との出会いを提供 障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもに対する読み聞かせ活動の支援 子どもの読書活動に関わる支援者に対する研修や講演等 特別貸出用図書セットの充実及び協力貸出 図書館利用に困難がある子どもやその保護者に対するサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 「共に生きる障がい者展」における「えほんのひろば」にて点字絵本等を配架、読み聞かせを実施(11月) 府立中央図書館において、手話でのおはなし会を実施 府立中央図書館において、支援が必要な子どもの読書活動の現状や課題・方策について、子どもの読書活動に関わる支援者に対する研修や講演等を実施 多言語で書かれた本、誰もが楽しめる文字なし絵本等の貸出セットを充実し、学校や教育保育施設、ボランティア等の団体に貸し出しを実施 図書館利用に困難がある子どもやその保護者に対して、郵送貸出や、アプリケーション・ソフトを利用した対面朗読サービス等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響によりweb開催となったため、「共に生きる障がい者展」では別事業を実施予定 楽しい手話はコロナの影響で休止中 中央聴覚支援学校(小学部)への手話による出張ブックトーク実施(9/16) 読書活動推進支援員養成講座(2回)実施 図書館所蔵多言語資料の学校向け広報チラシ作成及び学校関係者の研修で配布等活用中 文字なし絵本3セット(幼児向け、小学生向け、洋書)、朝の読書用セットYA(中学生)用2セット、ポプリア1セット、朝の読書用セット低・中・高学年各1セット(ほか(予定含む)) 特別貸出用図書のべ36セット貸出、アジア絵本のべ4セット貸出 図書館利用に困難のある子どもに対して郵送貸出を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 支援学校において学校図書館の蔵書が十分でないところがある。 多言語絵本の取扱書店が少なく、選書・入手が難しい。 多言語絵本の整理・目録等に課題 	<ul style="list-style-type: none"> 他府県の事例等、支援学校における蔵書の種類や入手方法を収集し改善策を検討 多言語絵本リーフレット作成の外部委託 多言語絵本の入手等について専門家の助言を求めることを検討 多言語絵本の提供のみならず、マルチメディアデジター等の情報を学校へ周知し活用できる方法を検討 当事者のみならず、周囲の障がい理解を深めるための取組を検討 						
			乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアとの連携支援 特別貸出用図書セット(絵本)の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> 府内で活動されている読書ボランティアの情報収集 教育保育施設に対して、読み聞かせボランティア一覧紹介・周知 特別貸出用図書セット(絵本)の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> 「大阪府内で活動する読書ボランティア団体一覧」HPを更新 1幼稚園に7セット貸出(ベトナム語絵本、森の絵本、さわる絵本等) 	<ul style="list-style-type: none"> 特別貸出用図書セット、アジア絵本セットの利用はコロナ禍前後で変化は見られない。 貸出用図書セットの需要に対し、図書が十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> 特別貸出用図書セットのニーズの把握とセットの充実を検討 					
			小中高	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアと学校の連携支援 特別貸出用図書セット(朝読・調べ学習等)の貸出 学校図書館(「学習」「情報」「読書」センター機能)の活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 市内市町村に対し、状況に応じてボランティアとの連携を進めるよう助言 特別貸出用図書セット(朝読・調べ学習等)の貸出 読書活動フォーラム、学校図書館担当指導主事会の実施 学校図書館を活用した授業づくりモデル校に対する研修支援 学校図書館を活用した授業づくりモデル校の取組みの普及、発信 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度市町村教育委員会に対する指導・助言事項 のべ16校、86セット貸出 学校図書館担当指導主事会を実施 フォーラムにて、モデル校事例発表(予定) モデル校への有識者派遣を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実践事例等の充実課題 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、モデル校の取組み内容がわかる資料を作成予定 					
5	子どもに本を届けるネットワークの整備	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアとの連携支援 特別貸出用図書セット(絵本)の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> 府内で活動されている読書ボランティアの情報収集 教育保育施設に対して、読み聞かせボランティア一覧紹介・周知 特別貸出用図書セット(絵本)の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> 「大阪府内で活動する読書ボランティア団体一覧」HPを更新 1幼稚園に7セット貸出(ベトナム語絵本、森の絵本、さわる絵本等) 	<ul style="list-style-type: none"> 特別貸出用図書セット、アジア絵本セットの利用はコロナ禍前後で変化は見られない。 貸出用図書セットの需要に対し、図書が十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> 特別貸出用図書セットのニーズの把握とセットの充実を検討 						
		小中高	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアと学校の連携支援 特別貸出用図書セット(朝読・調べ学習等)の貸出 学校図書館(「学習」「情報」「読書」センター機能)の活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 市内市町村に対し、状況に応じてボランティアとの連携を進めるよう助言 特別貸出用図書セット(朝読・調べ学習等)の貸出 読書活動フォーラム、学校図書館担当指導主事会の実施 学校図書館を活用した授業づくりモデル校に対する研修支援 学校図書館を活用した授業づくりモデル校の取組みの普及、発信 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度市町村教育委員会に対する指導・助言事項 のべ16校、86セット貸出 学校図書館担当指導主事会を実施 フォーラムにて、モデル校事例発表(予定) モデル校への有識者派遣を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実践事例等の充実課題 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、モデル校の取組み内容がわかる資料を作成予定 						
		全体	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 読書活動支援者に対する読書関連講演や好事例の紹介 おすすめ本紹介冊子の作成 特別貸出用図書セットの貸出 様々な居場所における子どもの読書活動習慣形成事業 ネットワークづくりの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府子ども読書活動ネットワークフォーラム(再掲) 小学校読書活動推進研修 学校図書館担当指導主事会 児童サービス担当者連絡会 司書セミナー ボランティア養成講座等の実施 府内の図書館職員等のスキルアップに役立つ講座等の実施 府立中央図書館にて、「新刊紹介」講座の実施 「だっこでよんで」「よんでよんで」「ほんだな」等の作成 図書館未設置自治体公民館図書室、地域型保育院内患者図書室、児童福祉施設、矯正施設等への貸出支援の実施 矯正施設やフリースクールへの読書活動推進事業を実施(文部科学省委託事業) 学校図書館協議会(SLA)との連携(情報共有等) 府教育庁からの府内公立図書館への情報発信 教育コミュニティづくりへの子ども読書活動推進に関する情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインを活用する等、研修を実施 新刊紹介講座(1383人申込) 小学校読書活動推進研修(1回) 保育技術専門研修(1回) 児童サービス担当者連絡会(開催予定) 司書セミナー(子ども読書関連4回、うちオンライン2回) ボランティア養成講座等の実施(支援員養成講座2回) 府内の図書館職員等のスキルアップに役立つ講座等の実施(合同研修3回、うちオンライン2回) 「ほんだな2021」発行(6月30日) 児童福祉施設1、矯正施設3へ特別貸出用図書セットを貸出(のべ18セット) 矯正施設へのオーサージットの実施 フリースクールへの図書貸出を実施 図書館案内リーフレットの作成 府SLAとの情報共有のためメンバーリストを作成 府立中央図書館を通して、府教育庁が実施する事業等を周知 家庭教育支援担当者会議及び観学習リーダー交流会における子ども読書活動推進の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的、計画的に人材育成のための研修等を実施している。 「新刊紹介」の会場実施とオンライン配信の併用 「ほんだな」を夏休み前に毎年発行 図書の貸出により、児童福祉施設や矯正施設における読書環境の充実を図ることができた。 国庫委託事業として半年度限り予算措置を講じ左記の事業を実施 現時点では情報提供を始めたところであり、連携方法や内容等は今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 配信用動画作成作業の省力化 「だっこでよんで」「よんでよんで」の改訂を検討 オーサージット事業の実施対象を矯正施設にも拡大できるよう検討 図書館案内リーフレットを多言語化し、日本語以外を母語とする子どもへの図書館利用を支援する。 連携方法や内容を検討 						
6	子どもの読書活動を進めるための組織の設置	—	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動の推進に取組む関係各課(小中学校課・高等学校課・支援教育課・中央図書館・地域教育振興課)による子ども読書活動推進会議を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度2回会議を開催し、計画策定や意見交換等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4次計画1年目である今年度に事業をまわすための仕組みや資料を作成したが、効果的なものとなっていたか見直しが必要 	<ul style="list-style-type: none"> より効果的な運営を行うよう努める。 							
7	電子書籍の活用検討	—	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者と連携し、お菓자에絵本が読めるQRコード及びOSAKA PAGE ONEキャンペーンのロゴを掲載(再掲) 府立中央図書館において、電子書籍の活用に関する調査・検討、無料コンテンツの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 府城市町村図書館との合同調査(電子書籍導入館からの聞き取りと意見交換)等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 府城市町村図書館の電子書籍の情報が収集できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童向けの電子書籍活用状況について継続的に情報収集を行う。 							

(3) 令和3年度事業実施計画 総括

子ども読書活動推進会議	社会教育委員会議
<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の影響があり、一部実施できなかった事業があるが、概ね重点的な7つの施策に掲げる方策に沿った事業を実施することができた。 ○第4次大阪府子ども読書活動推進事業計画1年目である令和3年度において、民間企業と連携し、家庭や社会への子ども読書活動推進を普及・啓発するとともに、関係各課が参画する推進会議を設置し、事業計画を立て、学校図書館協議会との連携を始めるなど、子どものあらゆる生活の場において読書活動の環境整備を進めることができた。 ○学校と図書館とのネットワーク構築の基盤固めを進めることができたものの、現時点では、連携の内容は概ね情報共有に留まっており、連携方法や内容等は今後の課題である。 ○また、子ども読書活動の普及・啓発における市町村との連携等についても、事業の共同実施等、府内全体におけるネットワーク構築を引き続き強化を図っていく必要がある。 	